dCS

Verdi Encore

Upsampling CD/SACD Transport

取扱説明書

Software Release 1.0x

株式会社太陽インターナショナル
〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-12-9
日本橋グレイス 1F
Tel : 03-6225-2777　Fax : 03-6225-2778
<URL> http://www.taiyo-international.com

目次

はじめに 4
製品の概略 4
レーザー放射の危険について 4
ご使用になる前に（安全にお使いいただくために） 5
初めてのヴェルディ・アンコール 6
梱包 6
安全のための注意 6
AC 電圧設定 7
設置 7
このマニュルについて 8
表示、フォントの意味 8
サンプルレート 8
順序 9
最初に 9
STEP 1：デジタル入力の選択 10
1394 インターフェイスを接続する 10
DAC 出力との接続 11
PCM 出力の接続 11
STEP 2：ディスクを演奏する 12
STEP 3：トラックの選択 13
トラック順序をプログラムする 13
全トラックをランダムに再生する 13
STEP 4：リピート順の設定 13
他の設定 13
典型的使用例 14
DA コンバーターをマスターモードで使用する 14
ソフトウェアーメニュー 15
メニューの使用 16
メニューを開く 16
メニューページの様式 16
メニューを閉じる 16

メニュー順序 17

Brightness ーディスプレイの輝度 17

Layer(CD, SACD) ー CD/SACD レイヤー 17

Issue ーソフトウェアヴァージョン 17

1394 Issue ー 1394 インターフェイス　ソフトウェアヴァージョン 17

Serial ー 本機のシリアル番号 17

Contact ー 連絡情報 18

CDUpdate ー CD によるソフトウェア・アップデート 18

ハードウェアーコントロール部と接続部 19

フロントパネル 19

フロントパネルの名称 19

(A) パワーボタン（Power） 19

(B) プレイ／ポーズボタン（Play/Pause）▶/❚❚ 20

(C) ストップ／イジェクトボタン（Stop/Eject）■/⏏ 20

(D) 状況表示（Status Indicator） 20

(E) デジタル入力・インジケーター（Digital Input Indicator） 20

(F) リモートコントロールセンサー 20

(G) メインディスプレイ（Main Display） 20

(H) モードインジケーター（Mode Indicator） 20

(I) メニューボタン（Menu）　（メニューSelect） 21

(J) トラック戻しボタン（Previous Track）⏮（メニューStep Back） 21

(K) トラック送りボタン（Next Track）⏭（メニューStep） 21

(L) CD トレイ（CD Tray） 21

(M) ロータリーコントロール（Rotary Contorol） 21

リアパネル 22

リアパネルの名称 22

(A) AES/EBU　デジタル入力（AES） 22

(B) SPDIF デジタル入力（RCA） 22

(C) AES/EBU　デジタル出力（AES） 22

(D),(E) SPDIF デジタル出力（BNC, RCA） 22

(F) SPDIF オプティカル出力（Toslink） 23

(G),(H) SDIF インターフェイス（CH1, CH2, Wordclock Out） 23

(I) ワードクロック・デジタル入力（Wordclock In） 23

(J) 1394 インターフェイス（1394） 24

(K) パワーリンク（Power Link） 24

(L) ソフトウェアアップグレードコネクター（SUC） 24

(M) パワースイッチ 24

(N) IEC 電源入力（Power） 24

(O) AC フューズ 24

追記 24

リモートコントロール 25

(A) スタンドバイボタン（Standby） 25

(B) SACD/CD ボタン（SACD/CD） 25

(C) トランスポート・コントロール（▶/❚❚, ■/⏏, ⏮, ⏭） 26

(D) ディスプレイボタン (Display) 26

(E) ボリューム／バランスボタン（Vol/Bal）......26
(F) 0～9 ボタン（0-9）......26
(G) メニューボタン（Menu）......26
(H) アップ／ダウンボタン （↑ / ↓）......26
(I) ミュート（Mute）......26
メンテナンス......27
ヒューズの交換......27
ヒューズを交換する......27
搬送時の取扱について......28
トップグラス・プレートの取り付け......29
リモートコントローラーの電池交換......30
電池カバーをはずす......30
電池を取り出す......30
新しい電池を入れる......30
仕様......31
問い合わせ先......32

はじめに

製品の概略

dCS ヴェルディ・アンコールはオーディオファイルから絶賛されているヴェルディ、ヴェルディ ラ・スカラから進化した、SACD アップサンプリング・トランスポートです。

ヴェルディ・アンコールは SACD、ハイブリッドディスクを演奏し、IEEE1394 を通して DSD データを出力します。その出力は dCS エルガープラス、1394 端子のあるディーリアスに接続し、広帯域、高音質の再生を行います。

DSD はシングルビットデータでサンプルレートは 2.822kS/s です。このフォーマットはオーディオ帯域を通常の CD では 20kHz までと設定されているところを、100kHz 以上までに拡張させるフォーマットとなっています。帯域を拡げることによってトランジェントレスポンスをよりシャープに、また位相特性を改善し、結果としてナチュラルな音質で正確なイメージングを描きます。

16 ビット、44.1kS/s の CD データは AES インターフェイス、3 個の SPDIF（RCA, BNC, TOS リンク）、SDIF-2 インターフェイスによっても出力されます。SACD を演奏の場合、この端子からはダウンサンプルされたデータが出力されます。

ヴェルディ・アンコールはワードクロック入力を装備しています。ワードクロック入力に、マスタークロック・ヴェローナ、dCS DAC をマスターモードにして入力することで単一クロックによる同期をとることができます。同期をとることによってデジタルシステムにおける音質劣化の最大要因であるジッター歪みがシステム全体で減少します。

ヴェルディ・アンコールは dCS D/A コンバーターとの併用によって、非常にフレキシブルなデジタルオーディオプラットフォームとなり、FPGA や DSP 等のソフトウェア環境設定チップの広範囲な使用を可能にします。これによって内部ソフトウェアを dCS CD、PC 等からアップデートできるという大変有益な機能を備えているのです。

記に加えて、Encore はユーザーが他のデジタル源を彼らのシステムに接続するのを可能にする XLR と RCA コネクタの上で牽引デジタル入力に対する準備をします

上記に加えて、Encore は他のデジタル機器をこれらのシステムに接続することを可能にするデジタル入力 (XLR および RCA）を準備しています。この入力は現在のヴァージョンでは動作しません。将来のソフトウェアのヴァージョンアップで対応する予定です。

レーザー放射の危険について

dCS ヴェルディ・アンコールは US FDA21CFR 項 J. をクリアするクラス 1 レーザー製品となっています。US FDA アソシエーション番号は 0211117 です。通常の使用においては、レーザー放射に依る危険はありません。

重要：金属のトップカバーは dCS の認定したサービスによってのみの取り外しが許可されています。このカバーはご使用になるオーディオファイルをレーザー放射や電気的なショックからお守りするためにあります。

ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）

本機をご使用になる際には、安全上のご注意をよくお確かめ下さい。
以下の注意事項は安全にお使いいただくために大切な内容です。必ず守るようにして下さい。

⚠ 警告：誤って取り扱うと、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。
⚠ 注意：誤って取り扱うと、傷害又は物的損害などの発生に結びつく可能性があります。

［設置上のご注意］

⚠ 警告

・定格電圧ＡＣ 100V にてご使用下さい。
・付属の AC 電源ケーブルは、本機専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。
・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になります。
・ＡＣ電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
・ＡＣ電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねっじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
・本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。
・水など塗れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
・万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐにＡＣ電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことを確認してからお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

・本機を設置する際にはこの取扱説明書に従って確実に行うようにして下さい。
・本機の取り出し、及び設置する際には細心の注意をし、慎重に行うようにして下さい。落下等でケガや物損を招く原因になります。
・湿度の多い場所で使用しないで下さい。結露等により故障の原因となります。
・ゴミやホコリの多い場所では使用しないで下さい。
・室内温度が５℃～４０℃の範囲でご使用下さい。
・振動が多く、水平でない場所には設置しないで下さい。機器の落下等でケガや物損を招く原因になります。
・オーディオラック等に納めてご使用になる場合、通風をしっかり取るなど熱のこもりには充分注意して下さい。故障の原因になる場合があります。

［お手入れについて］

・本体の汚れは、柔らかい乾いた布（シリコンクロス等）で軽く拭き取ってください。ベンジンやシンナーなど揮発性の薬品のご使用は、絶対におやめください。本体の表面が変質する恐れがありま

⚠ 注意

・リアパネルの端子等のお手入れの際には、必ずＡＣ電源ケーブルを抜き電源をお切り下さい。感電の原因となることがあります。

初めてのヴェルディ・アンコール

使用前に本項および「順序」(P.9)をぜひお読みください。ハイファイシステムにヴェルディ・アンコールをセットするための最短距離です。

梱包

ヴェルディ・アンコール製品の梱包には下記の物が入っています。

・ヴェルディ・アンコール本体
・マニュアル
・コントロールサマリー
・パワーケーブル
・ヒューズ（スペア）
・リモートコントロールユニット
・単四電池　３本
・六角レンチ（リモートコントロール用）
・IEEE 1394 ケーブルアセンブリー
・BNC ケーブル
・六角レンチ（輸送ネジ用）
・天板
・ボルト＆プラスチックワッシャー　４個
・六角レンチ（天板用）

重要：搬送の際、ドライブ・メカニズムにダメージを与えないよう、４個のネジでドライブを固定してお送りしています。設置の際にはこのネジを取り外し、トップグラス・プレートを取り付けてからご使用下さい。(P.29 参照)

上記リストに照らし合わせて内容を点検ください。損傷があったり、部品の欠品があった場合にはすぐに販売店にお知らせください。本機の梱包材は箱を含め保管なさることをお願いします。

ヴェルディ・アンコールの保証カードは愛用者カードでの登録後、お手元にお届けいたします。

安全のための注意

ヴェルディ・アンコールのサービス用パーツは供給されておりません。ユーザーご自身で本体の分解、または内部を開けることなどは危険です。本機自体が不具合である場合には販売店にご相談ください。

重要：パワーケーブルによって本機はグランドアースをとらなければなりません。

AC 電圧設定

初めてヴェルディ・アンコールをセットするとき、ご使用の電圧と合致しているか再度ご確認ください。本機は 50 ／ 60 サイクルどちらにも対応します。リアパネルの AC 入力部の下に電圧表示があります。万一ご使用の電圧と表示が異なる場合には決して本機をご使用しないで下さい。電圧が異なる場合、致命的な損傷を本機に与えてしまいかねませんし、それは保証の対象外となります。また電圧変更をご自身でなさらないでください。

重要：常識的な AC ケーブルをご使用ください。一部のオーディオファイル用パワーコードは必要以上に重く、入力部を破損しかねません。この場合には保証対象外となりますので、十分ご注意ください。

設置

デジタルソースに適切に接続されるよう、本機をしっかりとした共振の無いベースに設置ください。本機を同時に使用するチューナーやアンプの直接すぐ上かすぐ下に設置することは避けて下さい。

このマニュルについて

ヴェルディ・アンコールを初めてお使いの方は、<u>「初めてのヴェルディ・アンコール」（P.6）</u>の項をご覧ください。

表示、フォントの意味

一部の文字フォントや表示が通常の文字ではないところがあります。

- <u>アンダーライン</u>は他の項をご参照になることをお勧めしています。
- **青**：ハードウェアの項でコントロールとコネクターについての記載
- **黒で囲まれた白抜き**：代替コントロール機能（例　メニュー操作）
- **ピンク**：メニュー　頁、またはセッティング
- **グリーン**：ディスプレイ表示
- 赤：インジケーター

重要事項

<u>重要事項はイタリック（斜体）で書かれています。このイタリック体（斜体）の項を無視した場合には本機に損傷を与えてしまったり、保証の対象外となることがありますので、十分ご注意ください。</u>

このマニュアルは皆様のお役に立つべく十分期を配りまして用意致しましたが、お気ずきの点がありましたら、どうぞ当社までご連絡いただきたく存じます。よりわかりやすいマニュアルにしてまいりたく存じます。

サンプルレート

このマニュアルのサンプルレートの表記は kS/s（キロサンプル／秒）で書かれています。kHz とは技術的には正しくありません。

順序

基本的なオペレーションのためのステップバイステップセッティング（順序）をご説明します。ヴェルディ・アンコールをしばらくお使いになっていらっしゃらない場合には、ご確認の意味でも役に立つ項目と存じます。

最初に

コントロールサマリーシートはメニュー構築構造とフロントパネルコントロールのアウトラインが書かれています。より詳しくは「ソフトウェアメニュー」（P.15）の項をご参照ください。

デジタルインターフェイスの為に、デジタルオーディオ用にきちんと設計されているケーブルをご使用ください。

・AES/EBU インターフェイスには 110Ω、ツィステッドペア、XLR(M)-XLR(F) コネクターでご使用ください。

・SPDF、ワードクロック、または SPDF BNC インターフェイスには 75Ω コアキシャル BNC ケーブルをご使用ください。

・SPDF RCA インターフェイスには 75Ω コアキシャル RCA フォノプラグで端末処理されたケーブルをご使用ください。

・TOS リンクオプティカルインターフェイスには TOS リンク光ファイバーケーブルをご使用ください。

・ST オプティカルインターフェイスには、ST スタイルファイバー光ケーブルをご使用ください。

・IEEE1394 インターフェイスには IEEE1394 ケーブルをご使用ください。本機に付属しています。

下記の通りに行ってください。

● ヴェルディ・アンコール・リアパネルにパワーケーブルを接続、パワー入力部にあるパワースイッチをオンにする。（❙の位置にする）

重要：必要以上に重く太いケーブルは入力ソケットを損傷する場合がありますので、ご使用にならないで下さい。この入力ソケットの損傷は保証の対象外です。

● Power ボタンを押して約 5 秒間待つ。ヴェルディ・アンコールが自身でシステム設定を行う。

ディスプレイは次の順で表示されます。Encoe, Welcome, Reading 次に No Disk

もし本機が通常の状態を表さない場合には、次のようにリセットできます。

● Menu（メニュー）ボタンを一回押し、Step Back（ステップバック）ボタンを Factory（ファクトリー）が表示されるまで押していく。次に Select を押し、本機が再起動するまで待つ。

PWR インジケーターが点灯し、その他全て消灯します。

STEP 1：デジタル入力の選択

ヴェルディ・アンコールと DAC には 2 本のケーブルで接続するだけです。ヴェルディ・アンコールは IEEE 1394 入力を装備したエルガープラスやディーリアスと互換性があります。

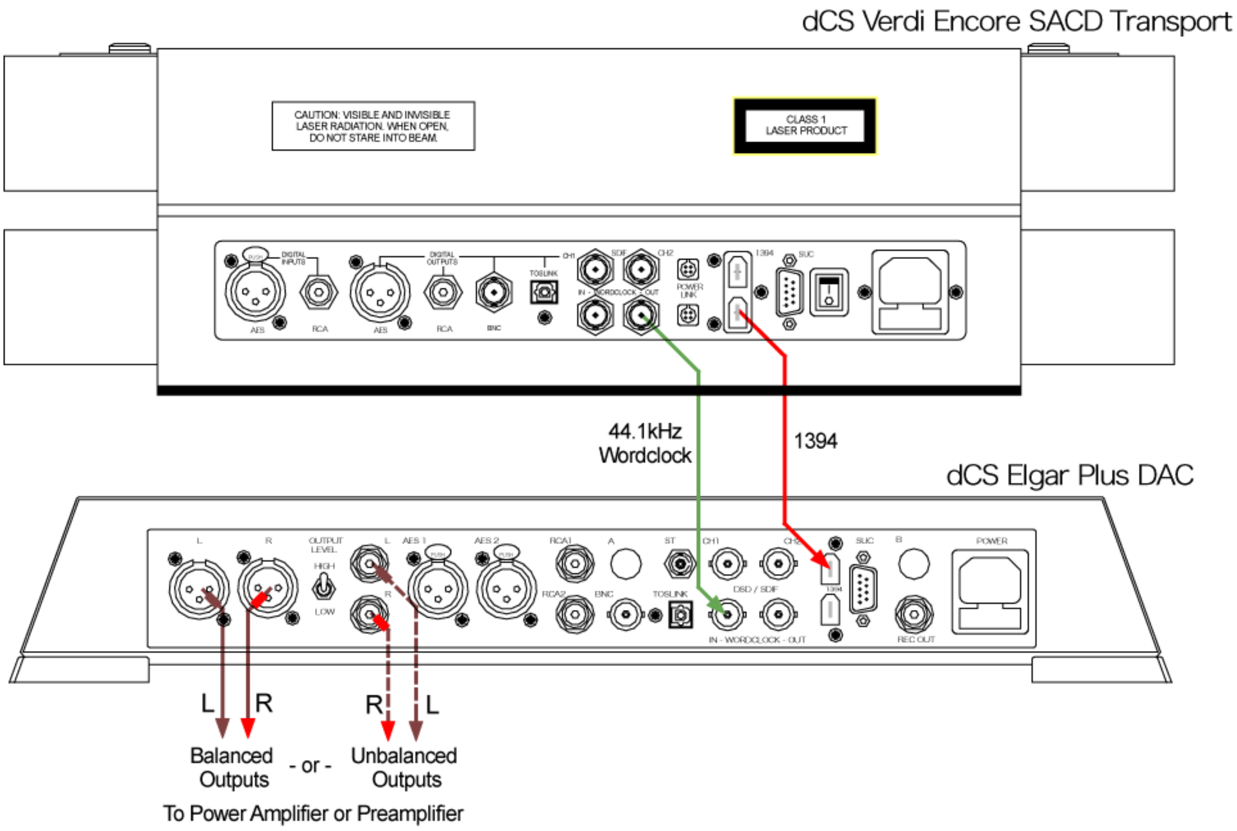

図 1：ヴェルディ・アンコールとエルガープラスとの接続

1394 インターフェイスを接続する

SACD、ハイブリッドディスク、CD を演奏すれば、DSD データは 2 つの 1394 コネクターのどちらも DSD データを送信します。このデータは 1394 端子を装備したエルガープラス、またはディーリアスによって解読されます。

- DAC を **1394** モードにセットする。
- 付属の IEEE1394 ケーブルをヴェルディ・アンコールの **1394** コネクターに接続する。（2 つのうちのどちらの 1394 端子でもかまいません）
- ヴェルディ・アンコールの **Wordclock Out**（ワードクロック出力）を DAC のワードクロックインに接続する。

重要　2 系統あるヴェルディ・アンコール 1394 コネクターを両方とも一機の DAC に接続しないこと。IEEE1394 のシンクロ動作を妨げます。

DAC 出力との接続

- DAC アナログ出力を適切なプリアンプまたはパワーアンプのインプットと接続する。パワーアンプとスピーカーと接続する。
- プリアンプまたは DAC のボリュームコントロールを最小レベルにセットする。
- すべてのシステムコンポーネントが動作可能状態（オン）になっていることを確認する。

このセットアップは図 1 に表示されています。

PCM 出力の接続

ほとんどの CD は 1394 インターフェイスでアップサンプルされたデータを送信した方が良い音質が得られるでしょう。標準の CD データはすべての PCM アウトプットからも出力されますので、CD をそのまま演奏することもできます。

- ヴェルディ・アンコール リアパネルの **AES**,**RCA**,**BNC**,**Tosliink** アウトプットのご使用になる出力と、マッチする DAC のインプットとを適切なケーブルで接続する。
- **SDIF-2** をご使用の場合には、ヴェルディ・アンコールのリアパネル、**CH1** と **CH2** アウトプットと、DAC の入力とを適切なケーブルで接続する。またヴェルディ・アンコールのリアパネル **Wordclock Out** と DAC の Wordclock In とを接続する。

STEP 2：ディスクを演奏する

● Stop/Eject ボタンを押す。

ディスプレイは Opening と表示し、次に Open と表示します。

● トレイにディスクを載せ Eject ボタンを押すか、トレイ自体を軽く押すとディスクがロードされる。

ディスプレイは Closing と表示し、次に Reading と表示します。ディスク CD, SACD が認識されます。CD または SACD の表示がでます。この状態で、ハイブリッドディスクは SACD レイヤーを演奏するようになっています。

アンコールは以下のようにディスクに応じて反応します。

CD： CD を演奏する場合、ディスプレイは CDDA PCM, CDDA Stopped, そして CDDA xx (トラック数) を表示します。Play ボタンを押せば演奏を始めます。

SACD： SACD を演奏する場合、ディスプレイは SACD DSD, SACD Stopped, SACD xx (トラック数) の順に表示します。Play ボタンを押せば演奏します。

ハイブリッドディスク：この場合、ヴェルディ・アンコールは SACD レイヤーを選択します。SACD DSD, SACD Stopped, SACD 01 の順に表示し、そのまま演奏を始めます。

● DAC の 1394 インプットを選択する。

● DAC がロックしミュート解除まで待つ。

● Play ボタンを押す。適当なレベルまで、ボリュームをあげる。

この時点で演奏が聞こえる状態です。

すべての一般的なディスクの場合、トラックナンバーと経過時間が表示されます。

● Play/Pause ボタンを押すと演奏は一時停止状態となる。演奏を続けるにはもう一度押す。

● Next Track、Previous Track ボタンを押すことにより、演奏は他のトラックに移動する。

*重要：コマンドを一度に素早く押さないでください。何回も **Previous Track** コマンドが押された場合には、本機はトラック 1 でフリーズするかもしれません。その場合、**Next Track** ボタンを一度押して、トラック 2 に行くようにします。*

● 演奏を停止させるには Stop/Eject ボタンを押します。再度押すことによって、トレイが開く。

STEP 3：トラックの選択

トラックを変えるには

● リモートトランスミッターの数字ボタン（0 ～ 9）ボタンを押す。
● たとえば、15 トラックにするには、1 を押し、3 秒以内に 5 を押す。

トラック順序をプログラムする

このソフトウェアバージョンでは使用できません。後日アップデートするソフトウェアまでお待ちください。

全トラックをランダムに再生する

このソフトウェアバージョンでは使用できません。後日アップデートするソフトウェアまでお待ちください。

STEP 4：リピート順の設定

このソフトウェアバージョンでは使用できません。後日アップデートするソフトウェアまでお待ちください。

他の設定

メニューによりより多くの機能が選択できます。メニューの項（P.15）を参照してください。

典型的使用例

DA コンバーターをマスターモードで使用する

dCS DAC をマスターモードで使用し、トランスポートのクロックと同調することにより、システムのジッターを減少させることができます。図２の通りに接続します。

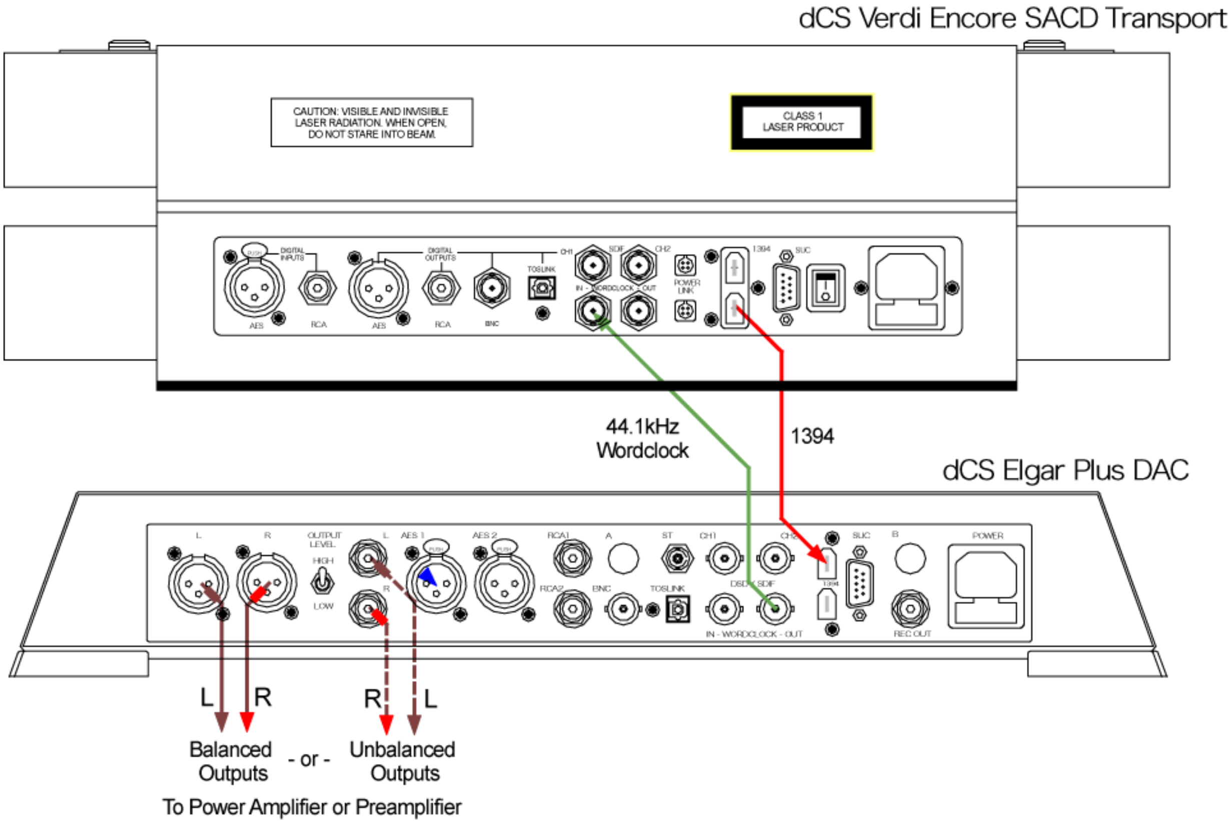

図２：DAC をマスターモードで使用する接続

<u>重要：Wordclock 接続は図１の場合と異なる点にご注意</u>

エルガープラス　ヴァージョン 4.2x 以降の設定

- 初めてこの接続を行う場合には、メニューを開き Factory にして工場出荷時の初期設定にする。
- SACD を再生する場合、Input ボタンを 1394 に指定する。メニューを再び開き、必要なら Filter（フィルター）を選択する。その後、MS ページに進み、MS:Mastr（マスター）に設定する。
- システムが再びロックされたら、最適レベルまで Volume（ボリューム）を上げる。

ソフトウェアーメニュー

メニューを進めるには Step > を押し、戻るには、< Step を押します。
メニューオプションを設定、変更するには Select を押します。

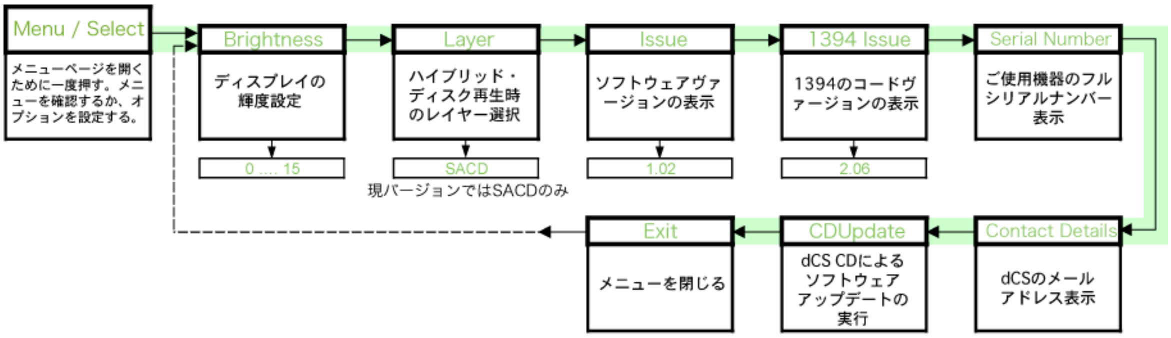

図３：ファンクションメニューのフローチャート

メニューの使用

メニューは様々な機能にアクセスすることが可能です。また、新しいバージョンのソフトウェアによるアップグレードを行うことによって、新機能を追加することが出来ます。

メニューを開く

メニューは 3 個のボタンによってコントロールします。

- Menu ボタンを押すとメニューを開くことができ、Select ボタンの機能も行います。
- Step →ボタンはメニューページを先に進みます。- Step ボタン
- ← Step ボタンはメニューページを戻ります。- Step Back ボタン

連続して Step ボタンを押すとメニューのページを進みます。直接特定のページにはいけません。メニューの最初から入り、目的のメニュー項目までページを進めていきます。

メニューページの様式

メニューには３つのタイプがあります。パラメター、インフォーメーション、テストのページです。

パラメターページは現在のセットされているパラメターのチェック、変更を行います。例えば、Brightness: 10（輝度）の場合、パラメターページが表示されている場合に Select ボタンは現状のセッティングを表示します。

インフォーメーションページはその機器の情報を表示します。たとえば Issue: 1.00（ソフトウェアのバージョン）などです。

メニューを閉じる

メニューを終えて通常動作に戻るには２通りの方法があります。簡単な方法は５秒待って、タイムアウトし、標準ディスプレイに戻る方法です。もう一つの方法は Step ボタンを Exit まで押す方法です。その時点で Select を押せば動作状態に戻ります。

本機が希望の機能を設定する前にタイムアウトした場合には、メニューを再度開きます。ページを進めるか戻すかしてやり残したところまで進みます。

メニュー順序

図 3(P.15)のフローチャートをご使用になるか､コントロールサマリーシートをご覧になればメニューがよりご理解いただけます。

次はメニュー <*1> に表示されるファンクションメニューを順に説明していきます。操作に慣れてきたら、メニュー <*1> を閉じる前に、一度に行うことが便利とお思いになるに違いありません。

<*1> 一部のソフトウェアアップデートはメニューアイテムの順序を変更するか、オプションを追加するかも知れません。これが発生したら、マニュアルより前にコントロールサマリーシートがアップデートされているのです。

Brightness ーディスプレイの輝度

メインディスプレイの輝度を 15（もっとも明るい）から 0（消灯）まで調整することが出来ます。

- ファンクションメニューを開き、ディスプレイが Brightness: x（“x” は 7 ～ 0 の番号）と表示されるまで進む。
- Select ボタンを繰り返し押すと、Brightness 0, Brightness 1, ... , Brightness 14, Brightness 15, Brightness 0, と変わる。

Brightness 0 に設定した場合、タイムアウト後本機がロックしていればディスプレイは消灯します。何か操作したり、ソースにロックしようとしているときにはディスプレイは一瞬点灯します。

Layer(CD, SACD) ー CD/SACD レイヤー

ハイブリッドディスクには CD, SACD の 2 つのレイヤーがあります。ハイブリッドディスクを使用する場合には選択ができますが、現ヴァージョンではその選択はできません。ハイブリッドの場合現行ヴァージョンでは SACD レイヤーを選択します。

Issue ーソフトウェアヴァージョン

ご使用の機器に適合しているソフトウェアの番号を表示します。ソフトウェアアップグレード、または機器が異常動作を起こしたときに必要な機能です。

- メニューを開き Issue:z.zz の表示まで進む。

1394 Issue ー 1394 インターフェイス　ソフトウェアヴァージョン

1394 インターフェィスのヴァージョンを表示します。

- メニューを開き 1394 Issue:z.zz の表示まで進む。

Serial ー 本機のシリアル番号

ハードウェアコードを含むシリアル番号を表示します。これはご使用の機器のソフトウェアをアップグレードするときに dCS にて必要な番号です。

- メニューを開き Serial Number（シリアル番号）の表示まで進む。メモの用意を。
- Select ボタンを一度押すと、ディスプレイにシリアル番号がスクロール表示される。

Contact ー 連絡情報

dCS の e メールアドレスとホームページ URL を表示します。

- メニューを開き Contact（連絡）の表示まで進む。メモの用意を。
- Select ボタンを一度押すと、連絡に必要なアドレスがディスプレイにスクロールされる。

CDUpdate ー CD によるソフトウェア・アップデート

このメニューによって将来ソフトウェアのアップデートができます。アップデート用 CD が用意されたときに、そのマニュアルに従って操作してください。

重要事項：1394 ケーブルはアップデートの際には本機から外してください。

ハードウェアーコントロール部と接続部

フロントパネル

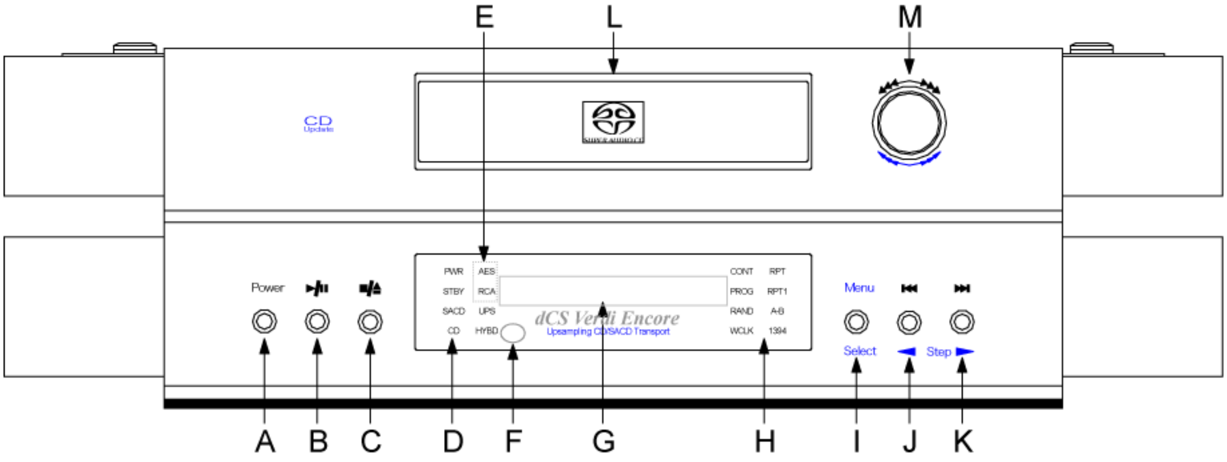

図４：dCS ヴェルディ・アンコール　フロントパネル

フロントパネルの名称

A　**Power**（パワー）およびスタンバイボタン
B　**Play**（プレイ）ボタンまたは **Pause**（ポーズ）ボタン
C　**Stop**（ストップ）ボタンまたは **Eject**（イジェクト）ボタン
D　**Status**（状況）インジケーター
E　**Digital Input**（デジタル入力）インジケーター
F　リモートセンサー
G　**Main Display**（メインディスプレイ）
H　**Mode**（モード）インジケーター
I　**Menu**（メニュー）または **Select**（セレクト）ボタン
J　**Previous Track**（トラック戻し）／または **Step Back**（ステップバック）ボタン
K　**Next Track**（トラック送り）／または **Step**（ステップ）ボタン
L　CD/SACD トレイ
M　**Rotary Control**（ロータリーコントロール）

(A) パワーボタン（**Power**）
このボタンはパワーオン／オフスイッチとスタンドバイモードのボタンとなっています。

● スイッチオンにするには **Power**（パワー）ボタンを押す。パワーが入ると **PWR**（パワー）インジケーターが点灯し、ヴェルディ・アンコールはパワーアップ準備を行う。
スタンドバイボタンはパワーをオンにしたときにクリックしませんが、これは正常です。

● 演奏を終え、**Power** ボタンを押すと、本機はスタンドバイ状態になる。
出力はミュートされ、**PWR** インジケーター除いて全て消えます。この状態で本機の消費電力はほとんどありません。電源を切った場合にはスタンドバイモードはキャンセルされます。

● この状態から通常動作に戻すには、**Power** ボタンを再び押す。
本機は使用可能状態に戻ります。

● 完全にスイッチオフする場合、Power ボタンを押した状態で Main Display（メインディスプレイ）が Pwer Off（パワーオフ）を表示するまで数秒押し続け、離す。

(B) プレイ／ポーズボタン（Play/Pause）▶/❚❚
● ディスクを挿入し、Play/Pause ボタンを押すと再生をはじめる。もう一度押すとポーズ（一時停止）となり、再度押すことによって停止したところから再生をはじめる。

(C) ストップ／イジェクトボタン（Stop/Eject）■/⏏
● ディスクを再生中に Stop/Eject ボタンを押すと再生を停止する。再度押すとトレイが開き、もう一度押すとトレイは閉じる。

(D) 状況表示（Status Indicator）
下記の６つのインジケーターで構成されています。。
・PWR（パワー）は電源が接続されて本機電源がオンもしくはスタンドバイモードの状態のときに点灯します。
・STBY（スタンバイ）は本機がスタンドバイモードにあるときに点灯します。
・SACD は SACD が検知された場合に点灯します。もしくは SACD ハイブリッドが挿入され、本機が SACD モードに設定されているときに点灯します。
・CD は通常の CD が検知された場合に点灯します。もしくは SACD ハイブリッドが挿入され、本機が CD モードに設定されているときに点灯します。
・HYBD（ハイブリッド）はハイブリッド SACD/CD が検知された場合に点灯します。尚、現行ソフトウェアヴァージョンでは動作はいたしません。）
・UPS（アップサンプル）はＣＤがアップサンプルされるときに点灯します。

(E) デジタル入力・インジケーター（Digital Input Indicator）
デジタル入力は本機のヴァージョンでにはありません。

(F) リモートコントロールセンサー
リモートコントローラーをこのセンサーに向けて操作をしてください。

(G) メインディスプレイ（Main Display）
本機の作動状態を示します。
Eject を押すとディスプレイは Opening と表示し、トレイを開きます。トレイを閉じるときディスプレイは Closing と表示します。ディスク TOC が読み込まれているときには、Reading と表示されます。
演奏中にリモートコントロールの Display ボタンを押せば約５秒間演奏中のトラック番号が表示されます。その後残り時間の表示に戻ります。
メニューの表示はこのディスプレイに現れます。

(H) モードインジケーター（Mode Indicator）
上部ブロックの６個のインジケーターはどのプレーモードが選択されているかを表示します。これらはソフトウェアアップデートにて使用されます。

44.1kHz ワードクロックが本機の Wordclock In に接続されている場合、本機は自動的にスレーブモードとなります。本機がロックしているときに、WCLK（ワードクロック）インジケーターは点灯し、ロック状態で点灯します。44.1k Hz 以外のワードクロック周波数は受け付けません。

SACD 演奏中、本機は IEEE1394 インターフェイス作動状態にあり、1394 インジケーターが点灯します。

(I) メニューボタン（**Menu**）　（メニュー **Select**）
Menu（メニュー）ボタンを押すとファンクションメニュー（P.16）が開き、メニューを変更または設定できます。

(J) トラック戻しボタン（**Previous Track**）　⏮　（メニュー **Step Back**）
(K) トラック送りボタン（**Next Track**）　⏭　（メニュー **Step**）
Previous Track（トラック戻し）ボタンを軽く押すことにより、一つ前のトラックに飛びます。**Next Track**（トラック送りボタン）を軽く押すことにより、一つ先のトラックに飛びます。
メニューを開いているときにはこのボタンにより、メニューを進めたり戻したりします。

(L) CD トレイ（**CD Tray**）
トレイが開いているときに軽く押しますと、トレイは閉じます。
本機に電源が入っている状態でトレイが開いている時に、**Power**（パワーボタン）を押すと、スタンドバイモード、または電源を落とす前に自動的にトレイを閉じます。

(M) ロータリーコントロール（**Rotary Contorol**）
メニューを開いている時に **Rotary Control** によってページを早送り、早戻しすることができます。

リアパネル

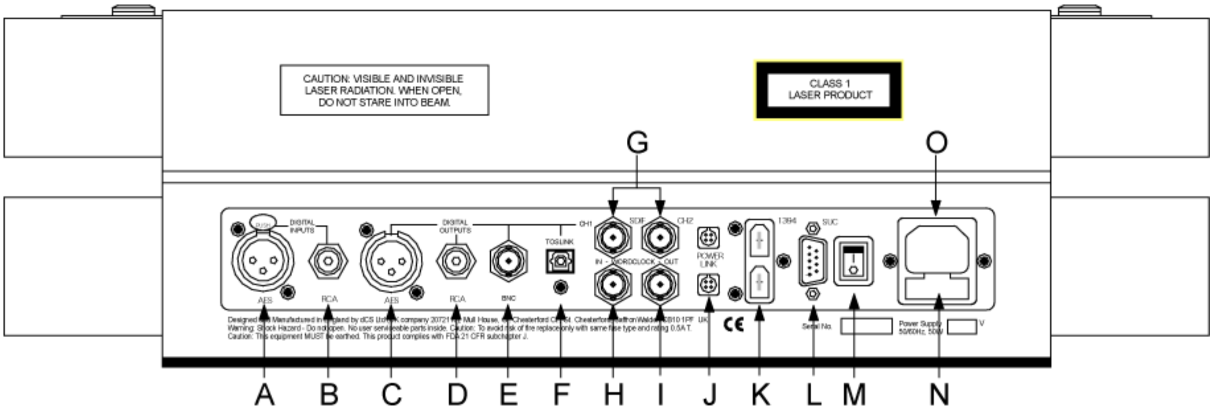

図５：dCS ヴェルディ・アンコール　リアパネル

リアパネルの名称

A	AES/EBU デジタルインプット	XLR(F)
B	SPDIF デジタルインプット	RCA
C	AES/EBU デジタルアウトプット	XLR(M)
D & E	SPDIF デジタルアウトプット	RCA& BNC
F	SPDIF オプティカルアウトプット TOSLINK	
G	SDIF インターフェイス	2× BNC
H	ワードクロックデジタルアウトプット	Wordclock digital Output
I	ワードクロックデジタルインプット	Wordclock digital Input
J	パワーリンク　Power Link	
K	IEEE1394 インターフェイス	２ × ６ ウェイ
L	ソフトウェアアップデート用コネクター　SUC　９ウェイ D タイプ	
M	パワースイッチ	
N	AC 電源フューズホルダー	
O	IEC 電源ケーブル用ソケット　Power	

(A) AES/EBU　デジタル入力（AES）
現行ヴァージョンでは使用できません。将来のアップデートで動作するようになります。

(B) SPDIF デジタル入力（RCA）
現行ヴァージョンでは使用できません。将来のアップデートで動作するようになります。

(C) AES/EBU　デジタル出力（AES）
AES 1 アウトプットは 44.1kS/s アンプルレートの AES/EBU デジタル信号を出力します。データフォーマットは AES3 です。SACD からのデータもダウンサンプリングし 16 ビット /44.1kS/s で出力できます。

デジタルオーディオ用または RF 用に設計された 110Ω シールドされたケーブルをご使用下さい。シールドされていないケーブルでは、他の機器からの電波障害により正常に稼働しない場合があります。

(D),(E) SPDIF デジタル出力（BNC, RCA）
SPDIF 出力は 44.1kS/s のデジタル信号を出力します。BNC, RCA とも同一です。データフォーマットは IEC60958、一般には SPDIF と云われます。SACD からのデータもダウンサンプリングし 16 ビット /44.1kS/s で出力できます。

デジタルオーディオ用に設計された 75Ω コアキシャル（同軸）ケーブルをご使用ください。デジタ

ル用、またはオーディオ用ケーブルにはデジタル信号伝送には適合しない製品が販売されていますので、ご注意ください。そのようなケーブルのご使用はトラブルの原因ともなりかねません。特に、アクティブデジタルケーブル、LCR ボックスの付属したデジタルケーブルやオーディオケーブルのご使用に関しましては、販売店もしくは当社にご相談ください。トラブルの例が多く見られております。

重要：コピー禁止のフラッグがデータソース上にある場合には SPDIF アウトプットからデータを録音することはできません。

(F) SPDIF オプティカル出力（**Toslink**）
オプティカルアウトプットは 44.1Ks/s のデジタル信号を光伝送で出力します。データフォーマットは IEC60958、一般には SPDIF と云われます。SACD からのデータもダウンサンプリングし 16 ビット /44.1kS/s で出力できます。

Toslink 出力にはデジタルオーディオ用に設計された Toslink 光ファイバーケーブルをご使用ください。ご使用の前にプラスティックカバーを外してください。

(G),(H) **SDIF** インターフェイス（**CH1**, **CH2**, **Wordclock Out**）
２系統のデータ出力 **CH1**, **CH2** と **Wordclock Out**（ワードクロック出力）から構成されています。すべて BNC コネクターです。インターフェイスは 44.1kS/s デジタル信号を出力します。データフォーマットは SDIF-2 です。 SACD からのデータもダウンサンプリングし 16 ビット /44.1kS/s で出力できます。

デジタルオーディオ用に設計された 75Ω コアキシャル（同軸）ケーブルをご使用ください。デジタル用、またはオーディオ用ケーブルにはデジタル信号伝送には適合しない製品が販売されていますので、ご注意ください。そのようなケーブルのご使用はトラブルの原因ともなりかねません。特に、アクティブデジタルケーブル、LCR ボックスの付属したデジタルケーブルやオーディオケーブルのご使用に関しましては、販売店もしくは当社にご相談ください。トラブルの例が多く見られております。

重要： 3 本のケーブルが DAC に指示通り（CH1 は入力の CH 1 へ、CH2 → CH 2 Wordclock Out → Wordclock In) に正しく接続されていることをご確認の上ご使用ください。間違っている場合には、インターフェイスのトラブル、チャンネル間の反転をひきおこすことがあります。

再生中、**Wordclock Out** は 44.1kS/s で出力します。

(I) ワードクロック・デジタル入力（**Wordclock In**）
Wordclock In（ワードクロック入力）は 44.1kHz のワードクロックを受信します。この端子からの入力によって、本機その他接続する機器をマスタークロックにシンクロさせることができます。それによる恩恵は、オーディオ出力に有害なジッターを減少させることです。44.1kHz ワードクロックが接続されると本機は自動的にスレーブモードとなります。接続しロックされるまでの間、**WClk** インジケーターが点滅、その後点灯し、ロックされた状態を示します。

ワードクロックインターフェイスにはデータはありません。デジタル機器用に設計された 75Ω 同軸ケーブルをご使用ください。AC カップルのデジタルケーブルは適切ではありません。

(J) 1394 インターフェイス（**1394**）

dCS IEEE1394 は 6 ウェイ 1394 コネクターによって接続します。最大 8 機までの 1394 ソースとバスを介して接続しますが、ループは避けてください。

本機は DSD データを 2.822MS/s で 2 つある **1394** コネクターから発信します。正しい動作のために、DAC は本機の **Wordclock Out** から 44.1kHz の信号にロックされていなければなりません。（または、システムがマスタークロックによって 44.1kHz で作動していることが条件です。）付属の 1.8m IEEE1394 ケーブルと BNC ケーブルをご使用になることをお進めします。インターフェイスが作動状態に入ると **1394** インジケーターが点灯します。なお付属のコネクターはグランド部分など本機にしっかりと接続されるように設計されています。一般の 1394 コネクターでは不具合が発生した事例もありますので、その場合には付属のコネクターで再確認なさることをお願いいたします。

重要：両方の 1394 コネクターを同じ DAC や他の機器に同時に接続しないこと。インターフェイスはエンドレスのループになり、作動しません。

(K) パワーリンク（**Power Link**）
リンクケーブルで他の dCS 機器と接続します。それによって **Power**（パワー）ボタンを一つ押すだけで、またはリモートコントロールから指示することによって、機器すべてをオン、スタンドバイ、またはオフにできるのです。dCS よりリンクケーブルが用意されております。

(L) ソフトウェアアップグレードコネクター（**SUC**）
これは新しいソフトウェアをヴェルディ・アンコールにロードするために dCS サービス代理店によって使用されるべきものです。

重要：SUC コネクターにはいかなる機器も接続しないでください。ヴェルディ・アンコールのみでなく、接続された機器の両方を破損しかねません。ヴェルディ・アンコールは PC を接続して動作しないでください。この重要警告を遵守しない場合。保証は保証期間であっても受けられませんし、ご使用機器に悪影響をも与えてしまいます。くれぐれもご注意ください。

(M) パワースイッチ
パワースイッチは本機をパワーサプライから完全に隔離します。通常は On（｜）の位置にしておいてご使用ください。長時間ご使用しないとき、激しい落雷の恐れがある場合には Off（○）にセットしてください。

(N) IEC 電源入力（**Power**）
３ピン IEC タイプ電源ケーブルをご使用ください。本機は 100v/50,60Hz の電源仕様です。

(O) AC フューズ
20　×　5mm 0.5A フューズを使用してください。

追記
リアパネルディスプレイは本機の次の情報を表示します。
- 製造者名、住所
- AC 電圧 , 周波数設定　定格出力
- 単純化されたシリアル番号
- PSE 規格適合シール

ソフトウェアアップデート、電話でのサポートには正面ディスプレイに表示されるフルシリアル番号が必要です。

リモートコントロール

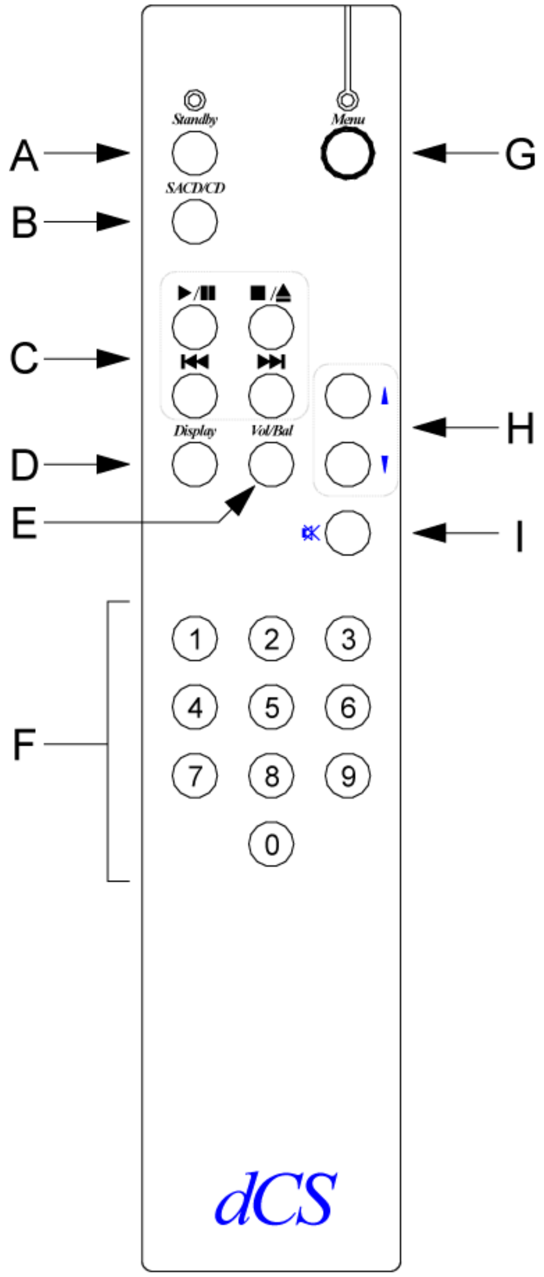

図６：リモートコントロール

(A) スタンドバイボタン（Standby）
通常 Stanbay（スタンバイ）ボタンを押すとヴェルディ･アンコールをスタンバイモードに設定します。再度押すと通常の稼動状態に戻ります。

(B) SACD/CD ボタン（SACD/CD）
ハイブリッドディスク演奏時にこのボタンによってレイヤーの選択ができます。

重要:現行ヴァージョンでは動作致しません。後日アップデートにより可能です。現行ヴァージョンでは SACD レイヤーのみを選択します。

(C) トランスポート・コントロール（▶/❚❚, ■/⏏, ⏮, ⏭)
Play/Pause ボタン、Stop/Eject ボタン、Previous Track ボタン、Next Track ボタンは本機のフロントパネルのボタンと同じように機能します。

Previous Track（前トラック）、Next Track（次トラックボタン）は早送り、早戻しの機能を持っています。

メニューが開いている場合にはこの前トラック、次トラックボタンによってメニューのスクロールを行います

(D) ディスプレイボタン (Display)
Display ボタンを押すと演奏中のトラック番号が約５秒表示されます。その後、残量時間を表示します。

(E) ボリューム／バランスボタン（Vol/Bal）
Vol（ボリューム）／ Bal（バランス）ボタンを押して、dCS DAC をバランスモードにします。↑ / ↓ボタンでバランス調整します。バランス調整が行われなければ、５秒後にバランスモードはタイムアウトになります。
このボタンはヴェルディ・アンコールには機能しません。

(F) ０～９ボタン（0-9）
トラック番号を選択するために使用します。トラック選択のためには、数字で指定する方法を推奨します。（例：現在トラック５が演奏されている状況で３に戻りたいときには、このトランスミッターで３を押せばよいのです。）

(G) メニューボタン（Menu）
メニューを開きます。Previous Track（前トラック）、Next Track（次トラックボタン）によってページをめくります。目的のページが表示されれば、もう一度 Menu（メニュー）を押して機能を選択します。
５秒以内にコマンドがない場合にはメニューはタイムアウトします。

(H) アップ／ダウンボタン　(↑ / ↓)
↑ / ↓ボタンで dCS DAC のボリューム設定を変更します。
このボタンはヴェルディ・アンコールには機能しません。

(I) ミュート（Mute）
dCS DAC を Mute（ミュート）にする、Mute 解除するときに押します。
このボタンはヴェルディ・アンコールには機能しません。

メンテナンス

dCS のオーディオ機器は特に定期的なメンテナンスを必要としません。
全てのサービスおよびアップグレードは dCS 社または当社のみが行います。

ヒューズの交換

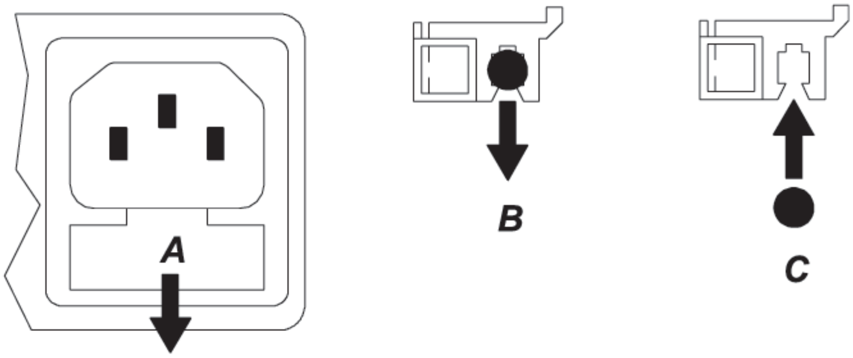

図７：ヒューズの交換

電源ソケットの下にあるヒューズ･ホルダー内にヒューズがあります。ヒューズが飛んだ場合、ヒューズが飛ぶような要因となる障害がないか、まず確認してください。もし障害があるようであれば、まずその障害を取り除いてください。もう障害がないと考えられた段階でヒューズを交換し、再度電源を入れてみてください。
（20×5mm 0.5A T HRC タイプ）

もし連続して飛ぶようであれば、不具合の可能性がありますので直ちに使用を中止し、お買いあげのオーディオ販売店か当社までご連絡下さい。

重要：ヒューズが飛んだときは、必ず同じタイプの物と交換してください。異なるタイプの物と交換することによって製品にダメージを与えたり、引火したり、電気ショックの原因になったりすることがあります。このような場合保証の対象とはなりませんので、ご注意下さい。

ヒューズを交換する

ヒューズを交換するとき、まず電源ケーブルを抜き、小型のマイナスドライバーでヒューズ･ホルダーのタブを引っ張り出します。ヒューズ・ホルダーのクリップから飛んだヒューズを押し出し、新しいものに交換してください。ヒューズ・ホルダーを本機にカチッと音がするように戻してください。スペアのヒューズは製品に 2 個同梱されています。

重要：ヒューズを交換する前に電源を切り、電源ケーブルを抜いてから行ってください。

搬送時の取扱について

搬送時のドライブ・メカニズム保護のために、ヴェルディ・アンコールをお届けする際には輸送ネジを締め、トップグラス・プレートを取り外した状態で梱包、納品させていただいております。

● 設置の際には図８の通り、赤色のドライブ固定ネジを取り外し、ラバーマットとトップグラス・プレートを取り付けた上でご使用下さい。

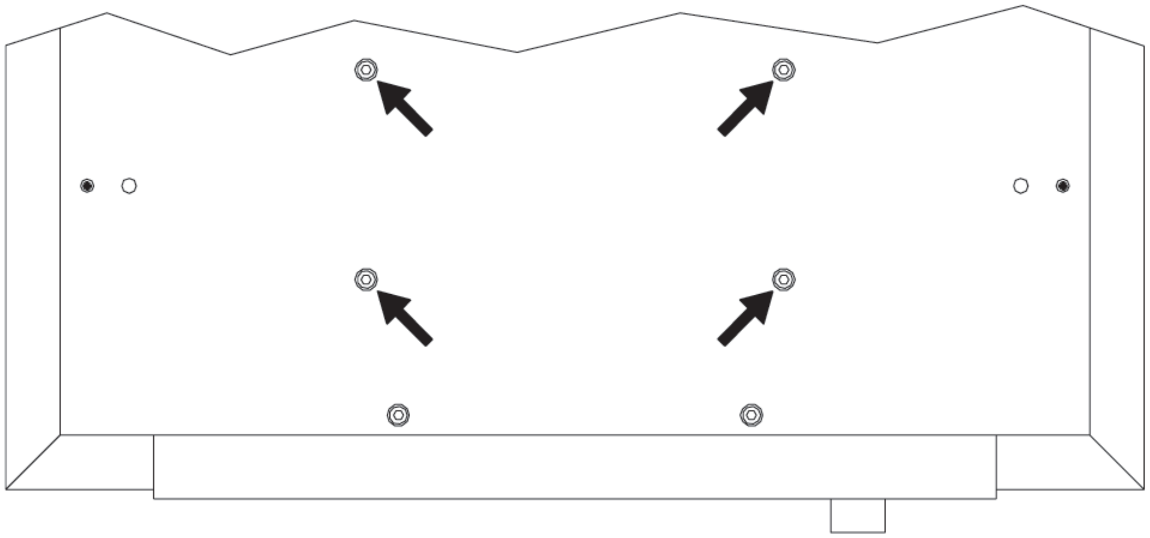

図８：ヴェルディ・アンコールの上部から見た輸送ネジの位置

● トップパネルには内部のドライブ・メカニズムがネジで４箇所止められています。これらを付属の 3mm 六角レンチで取り外してください。

重要：この輸送ネジは再度搬送する機械に必要ですので、大切に保管してください。

重要：搬送する際には、ドライブ固定ネジを必ず締めてください。ただし、その際にはこのネジを固く締めすぎないようにご注意下さい。

トップグラス・プレートの取り付け

- ラバーマットを袋から取り出し、4 箇所のネジアナに会わせて本体上部に乗せます。
- トップグラス･プレートを袋から取り出します。トップグラス･プレートの裏面に保護膜が貼ってありますが、そのままご使用ください。
- dCS のロゴマークがトップグラス・プレートの角にあります。これが手前左側に来るようにして、各角、中心をあわせて本体上部に設置します。<u>(図 9 参照)</u>

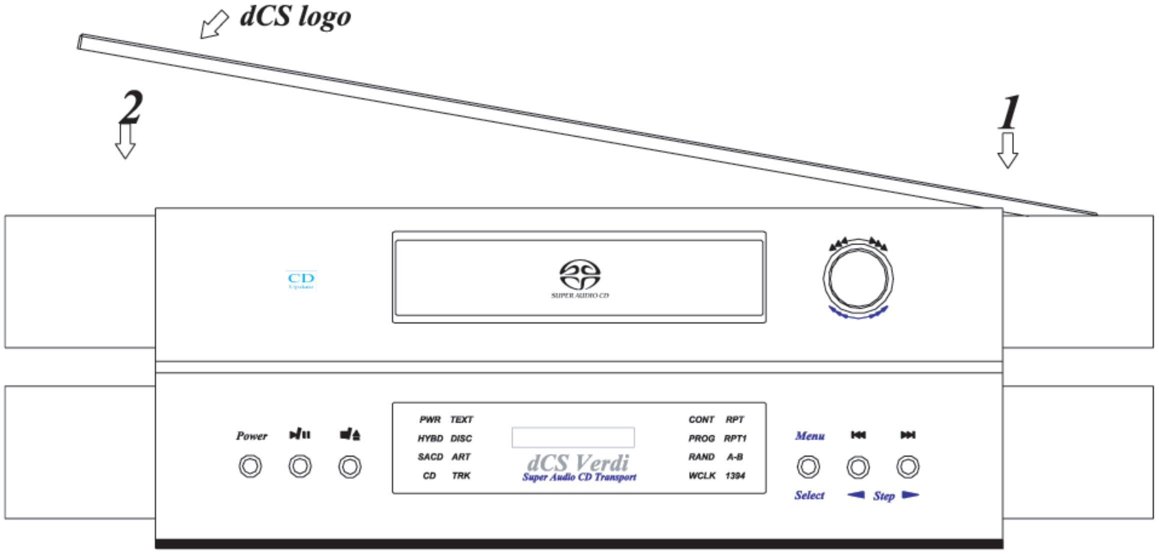

図 9 ：トップグラス・プレートを乗せる

- 付属のプラスチック・ワッシャーと留めネジを 4 つのネジ穴に入れ、まず 4 箇所均等に手で回して締めます。指で締められなくなった時点で、付属の 4mm 六角レンチを使用して増し締めを行いますが、締め付けは六角レンチの回転で 1/4 回転以上締めてはなりません。<u>(図１０参照)</u>

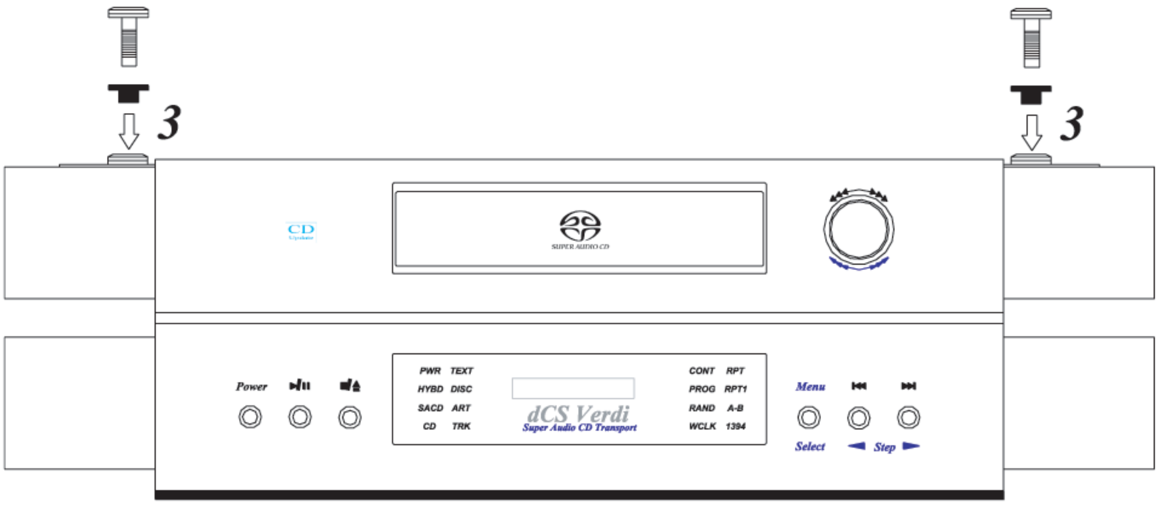

図１０：トップグラス・プレートをネジ止めする

<u>*注意：一カ所を締め付けすぎたり、全体を固く締め付けすぎると、ラバーマットを押さえ込みすぎてしまい、ダンピング材としての目的が殺がれてしまいますのでご注意下さい。*</u>

リモートコントローラーの電池交換

安全上の理由から、3 個の電池を別々に梱包して出荷しています。電池を交換する際は、適切なもの（単四アルカリ電池）と交換してください。

電池カバーをはずす

● リモートコントローラーを裏返し、出荷時に同梱されている付属の六角レンチを使用して、カバーを留めている２つのネジを丁寧にはずします。（図１１参照）このときネジ穴にダメージを与える可能性がありますので、付属の六角レンチ以外は決して使用しないでください。

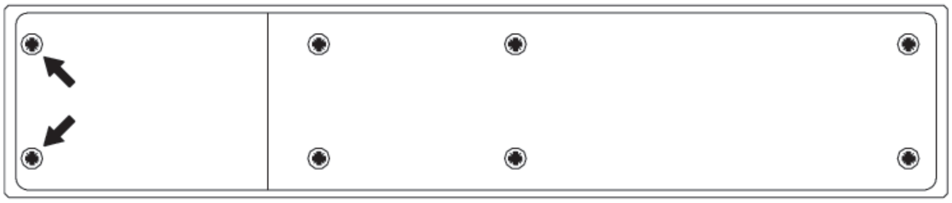

図１１：リモートコントローラーの電池カバー

電池を取り出す

● 電池の + 側をバネの方へ押し、外側に引き出してバッテリーボックスから使用し終わった電池を取り出します。取り出しにくい場合は、小さな鍵あるいはドライバーを使うと簡単に取り出せます。

新しい電池を入れる

● フラットな - 側をホルダーのバネについた方へ押し、スロットに正しく入れます。極性については電池ホルダーに表示してあります。常に 3 このバッテリー全てを同時に交換するようにしてください。

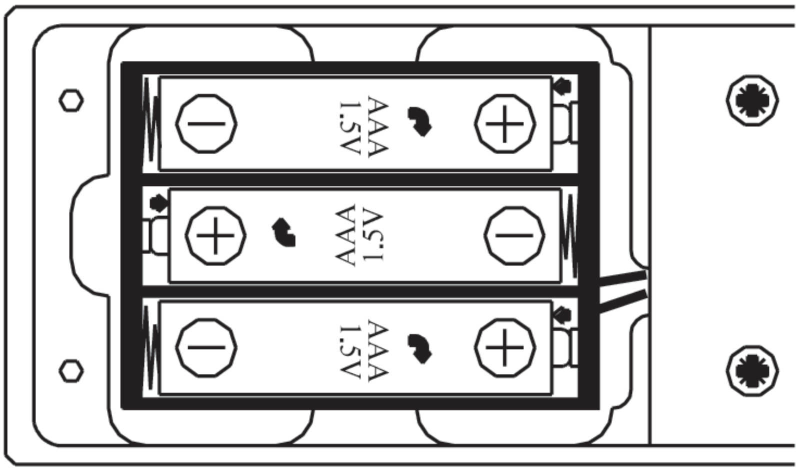

図１２：リモートコントローラーの電池交換

重要：電池が正しい極性で装着されていることを確認してください。もし誤って装着した場合、リモートコントローラーにダメージを与えることがあります。また電池が液漏れを起こした場合なども不具合の原因になります。これらの場合は保証の対象外となりますので、ご注意下さい。

● 電池 3 個を電池ホルダーに装着したら、電池ボックスにカバーをはめ込み、カバーのネジ穴がくぼんでいる面が外側になっていることを確認し、２つのネジで締めます。このとき強く締めすぎないようにご注意下さい。

仕様

ドライブメカニズム	デュアルレーザー、2ch SACD/CD コンパチブル
メカニズム・マウンティング	振動吸収弾性サスペンション採用
ローディング方式	フロント・ローディング
クロック精度	±3ppm（出荷時）
デジタル入力	AES/EBU（XLR）1 系統 SPDIF（RCA）1 系統
デジタル出力	AES/EBU（XLR）1 系統 SPDIF（RCA）1 系統 SPDIF（BNC）1 系統 TOS　1 系統 SPDI-2F（BNC）1 系統
ワードクロック入力	BNC　1 系統
ワードクロック出力	BNC　1 系統
双方向デジタル インターフェイス	IEEE1394　2 系統
電源電圧	100V　50/60Hz
最大消費電力	50W
最大外形寸法	W 461 × H 136 × D 434 mm
重量	14.0kg

※ 本機の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

太陽インターナショナル

13　問い合わせ先

株式会社太陽インターナショナル

〒 103-0027

東京都中央区日本橋 2-12-9　日本橋グレイスビル 1F

TEL :　03-6225-2777（代表）

　　　03-6225-2779（サービス課）

FAX :　03-6225-2778

ホームページ：　http://www.taiyo-international.com